

平成19年度第2回平塚市美術館協議会会議録

開催日時	平成20年3月18日(火) 14時～15時30分	
開催場所	平塚市美術館 研修室	
出席者	委員	山梨委員、滝波委員、田代委員、渡邊委員、村上委員、朝野委員、小宮委員
	事務局	草薙館長、鈴木副館長、小澤館長代理、土方館長代理、端山学芸員、小池学芸員、勝山学芸員、江口学芸員、野村主査
傍聴者	なし	

開 会

- ・副館長開会を宣言
 - ・草薙館長からあいさつ
- (会長に議事進行を交代)

議 題

(1)平成19年度事業結果について

- ・副館長が年間事業結果を報告

(質疑応答)

- ・高校生の観覧について
 - (意見) - このところの展覧会は、テーマが分かりやすいので、高校生(高等学校)にも、宣伝してほしい。
 - (応答) - 確かに、高校生は足を運んでもらいにくい世代である。また、高校が市立でないため、校長会などの宣伝の機会となる情報も得がたいのが実情である。今後は、平塚地区の通学区にあたる高校に情報を提供できるよう整備したい。
- ・黒田清輝展について
 - (意見) - 思ったほど観覧者が伸びなかったのでは？
 - (意見) - 暑さが響いたのではないか。
 - (意見) - 他館でも近現代の作家の絵画展は苦戦しているのが現状である。だからといって企画・展示しないことは別次元なので今後工夫してほしい。
- ・宮沢賢治展について
 - (質問) - 市内の集まりなどで「何度も見に行った」という声をよく聞いたが？
 - (応答) - 事業報告のとおり、歴代3位の観覧者数だった。児童生徒の遠足も多かったので、一度来館した子供たちが、再度家族との来館に結びついた結果だと考えられる。
 - (質問) - 今回、博物館、図書館などと連携した事業を行っていたが、博物館の「銀河鉄道の夜」が土・日のみの上映だったので見られなかったという声をよく聞いたが？
 - (応答) - 著作権や投影設備などの都合で、十分な上映回数を確保できなかったことを御理解いただきたい。ただ、今回の連携事業の評判が良かったので、平成20年度の企画展でも連携事業を予定している。

(2) 平成20年度事業計画について

- ・各担当学芸員が、企画展、特集展及び教育普及事業を説明

(質疑応答)

- ・教育プログラムについて

(意見) - 参加対象者を若い世代に絞ったプログラムを開催できないか？

(意見) - 「美術館が面白い、たのしい」と感じてもらうためのプログラムの開発をお願いしたい。

- ・所蔵作品の活用について

(意見) - どの美術館でも企画展がやりにくくなっている。そこで、地域に根ざした作家の作品を収集する取り組みが各地の美術館で始めている。そういった特色を出すのも一手であり、所蔵作品をどう見せるかを考えてみてはどうか。

(意見) - 所蔵作品をアピールする展示をすることで、他館からの借用の依頼も増えるはずである。そうした取り組みも積極的に行ってはどうか。

(応答) - 当館では、特集展にテーマを持たせて所蔵作品を組み合わせながら展覧会を行っている。今後も新たな特色を出せるよう工夫したい。

- ・美術館の宣伝について

(質問) - この1年間だけでも新聞やテレビで、平塚市美術館の展示が目につくようになった。宣伝・広報に特段の力を入れているのか？

(応答) - 広報担当を設けており、メディアへの積極的なアプローチを続けてきた効果と成果が出てきたところである。また、市民・メディア・当館の全てにメリット(公益)があるのなら、各機関の取材に協力を惜しまないつもりである。

(3) その他

- ・美術品の購入について

(質問) - 美術品の購入について、どうなっているのか？

(応答) - 購入予算がないため、寄贈及び寄託をお願いしている。

その甲斐もあって、昨年開催したアニマルズで展示したユニコーンを1階受付前に向こう1年間展示できることになった。

(会長が議事終了を宣言)

閉 会

- ・副館長が閉会を宣言

以 上